



ーリレー・エッセイー

男女共同参画推進委員会

平成25年度男女共同参画に関する作文 入選作品

第33回

高校生・一般の部 優秀賞

「家庭科」の「男女共修」の成果を、社会にも
今村 井子 (松井田地区)

私は小中学生の頃、よく両親から言われていた言葉がある。「女の子なんだからもつとにこにこしなさい」「○○ちゃんはいつもにこにこして、可愛いわね。セイコももつと女の子らしくにこにこしなさい。」と。親にしてみれば決して悪気があつたわけではない。にこにこしている子を見ると、誰もが優しい気持ちになるし、周りを明るくする。きつとそれを教えたかったのだろうと思う。しかし、言われれば言われるほど、私の中では「なぜ、女の子だから笑っていないなければならないのだろう」「男の子だったら、にこにこしなさい」と言われたいのに不公平だなあ。」と思つていた。中学生の頃に撮つたスナップ写真を見ると、どれもなぜか必要以上に「ぶすつ」としていたように感じる。私なりのささやかな反抗心だつたのだと思う。

それから、年月が経ち、仕事を持ち、家族を持ち、母となり、さまざまな場面自分女性であるということを意識せざるを得ない場面にも直面してきた。相手に悪気が無くても、古い価値観に傷つく場面も少なくなかった。しかし、自分が家庭科の教師として教壇に立ち、確かなことに気づくことも多かった。それは、1993年、家庭科で男女共修がスタートし、男女が家庭科を共に学ぶ素地ができたことだった。生

活そのものをテーマにした家庭科を男女の別なく学ぶことは、まず子どもたちにとって自然で、楽しいことであることを実感した。特に調理実習は、男女別なくとても楽しんで取り組む様子が随所に見られ男女が共に楽しみながら学ぶことの意義を再認識したものだ。

家庭科の男女共修は、全国的にも優れた授業実践が報告され、まさに男女共同参画のはじめの一步となる成功例と言えないだろうか。内閣府の男女共同参画白書によると、欧米諸国に比べ日本では、管理職、政治家への女性進出割合が低く、賃金格差も依然大きい。特に固定的な性別役割分担意識が強く、女性の高学歴を生かせない現状も見受けられるとの報告である。ここで改めて、家庭科の男女共修の視点から、男女共同参画社会を考えるのなら、私たちが自分の生活を見渡したときに、すべての場面において男女が同じスタートラインに立っているか、についてもつと社会全体で考えていく必要があるように思う。単に、女性が社会で働きやすい環境を整えていくだけでなく、家庭、社会すべてにおいて平等であるのか、再検証が必要になってきているような気がしてならない。

仕事人間だった父が、「人は平等でない」と絶対納得しない。その人が社長だろつが、下働きだろつが関係ないんだ。自分が平等に扱われているかどうかは大問題なんだ。」一人の人間が社会の中で生きていく、男女平等はすべてのスタートラインで言えないだろつか。

問合せ▼困企画課女性政策係

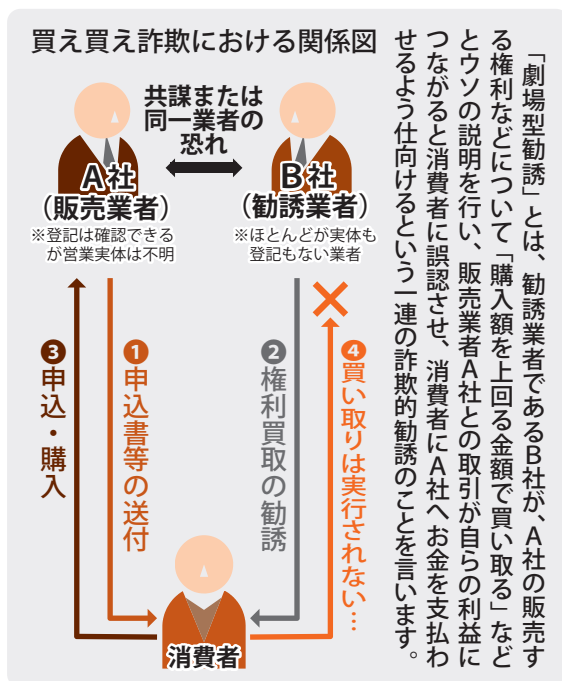
(☎内線1021)

消費生活センターからのお知らせ

「買え買え詐欺」にご注意!

「買え買え詐欺」ともいえる

「劇場型勧誘」による儲け話の手口



「買え買え詐欺」の特徴

共通するのは立場の違う複数の人が、入れ代わり立ち替わり勧誘する手口です。

未公開株や社債、ファンドのトラブルでは、ほとんどのケースで劇場型勧誘が行われていることが特徴として見られます。

「ハウンドバイス」

劇場型勧誘を受けて実際に消費者が利益を得たり、被害が回復できたケースは今までに1件も確認されていません。また、お金を支払った後、業者とは連絡不能になることがほとんどです。絶対に耳を貸さないことが大切です。

【まずは相談しましょう】

わからないことや困つたこと、少しでも不審に感じたら、早めに市消費生活センターにご相談ください。

相談日時▼月々金曜日(祝日を除く)午前9時〜午後4時
問合せ▼安中市消費生活センター (☎382-2228)